

日本で初めて スマホ普及率100%を目指す 村まるごとデジタル化事業

2024.4：日高村役場退職

安岡 周総（まさふさ）

1986年9月生（38歳）

高知県日高村生まれ日高村育ち

元日高村役場職員（在職歴12年：内8年企画）

委嘱：

- ・地域力創造アドバイザー
- ・地域おこし協力隊アドバイザー
- ・公民連携アドバイザー（ふるさと財団）

2023.8～：一社まるごとデジタル設立

2020.10～：一社nosson設立支援

2018.4～：企画課新設

2016.4～：総務課

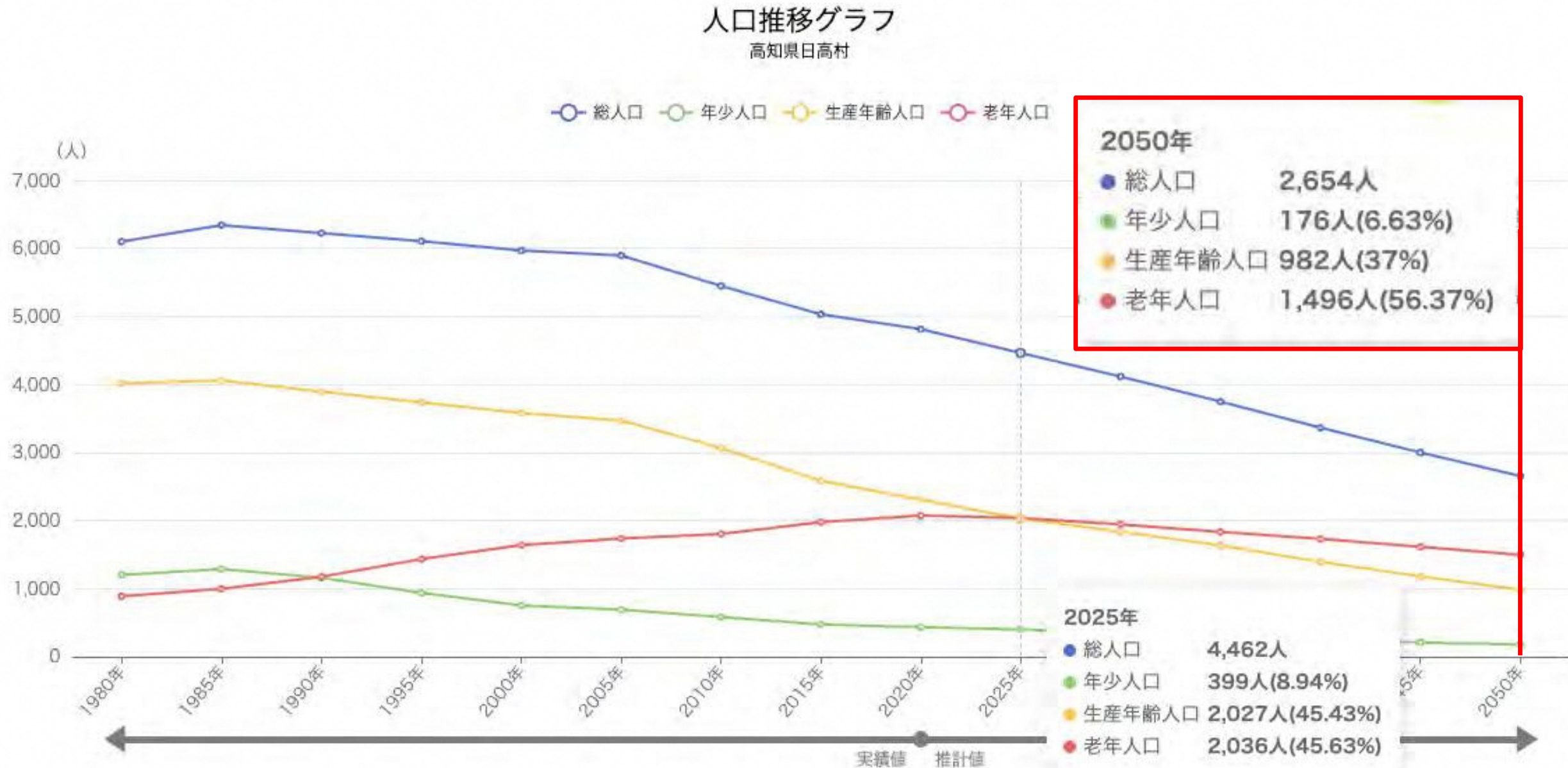
2014.4～：高知県庁出向

2012.7～：日高村役場入庁





人口推移グラフ：RESAS抜粋



本日のお願い

"Flat!"

立場や年齢は関係なく

"Eureka!"

なるほど！と新しい気づき



本日の流れ

0. アイスブレイク
1. そもそもなんでスマホ？
2. 日高村で何したの？
3. 村まるごとデジタル化事業
4. 事業成果
5. 一社）まるごとデジタル設立
6. 終わりに

00

アイスブレイク

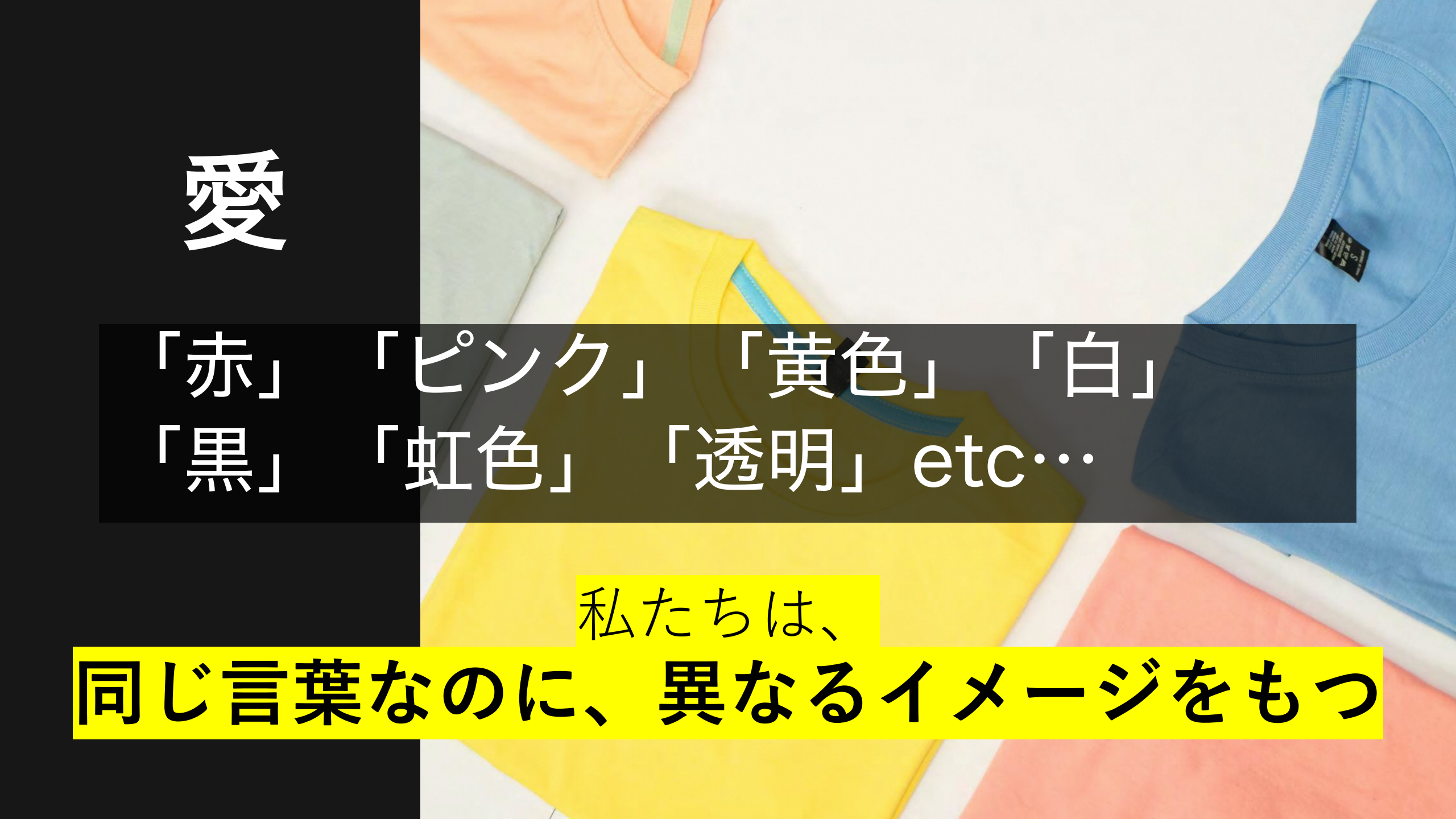
一番大切なコト

「愛」



「愛」

この言葉を聞いて
「何色」
を思い浮かべますか？



愛

「赤」「ピンク」「黄色」「白」
「黒」「虹色」「透明」 etc...

私たちは、

同じ言葉なのに、異なるイメージをもつ

Q なんでもやっただと思いますか？

そもそも**なんで**
スマホがいるの？

日高村では
何したの？…

スマホって



うまく使えるか
不安…

年齢的に
難しいんじゃない？…

価格も
高いんじゃない？…

01

そもそもなんでスマホ??

デジタル化推進の社会的背景

現状と将来

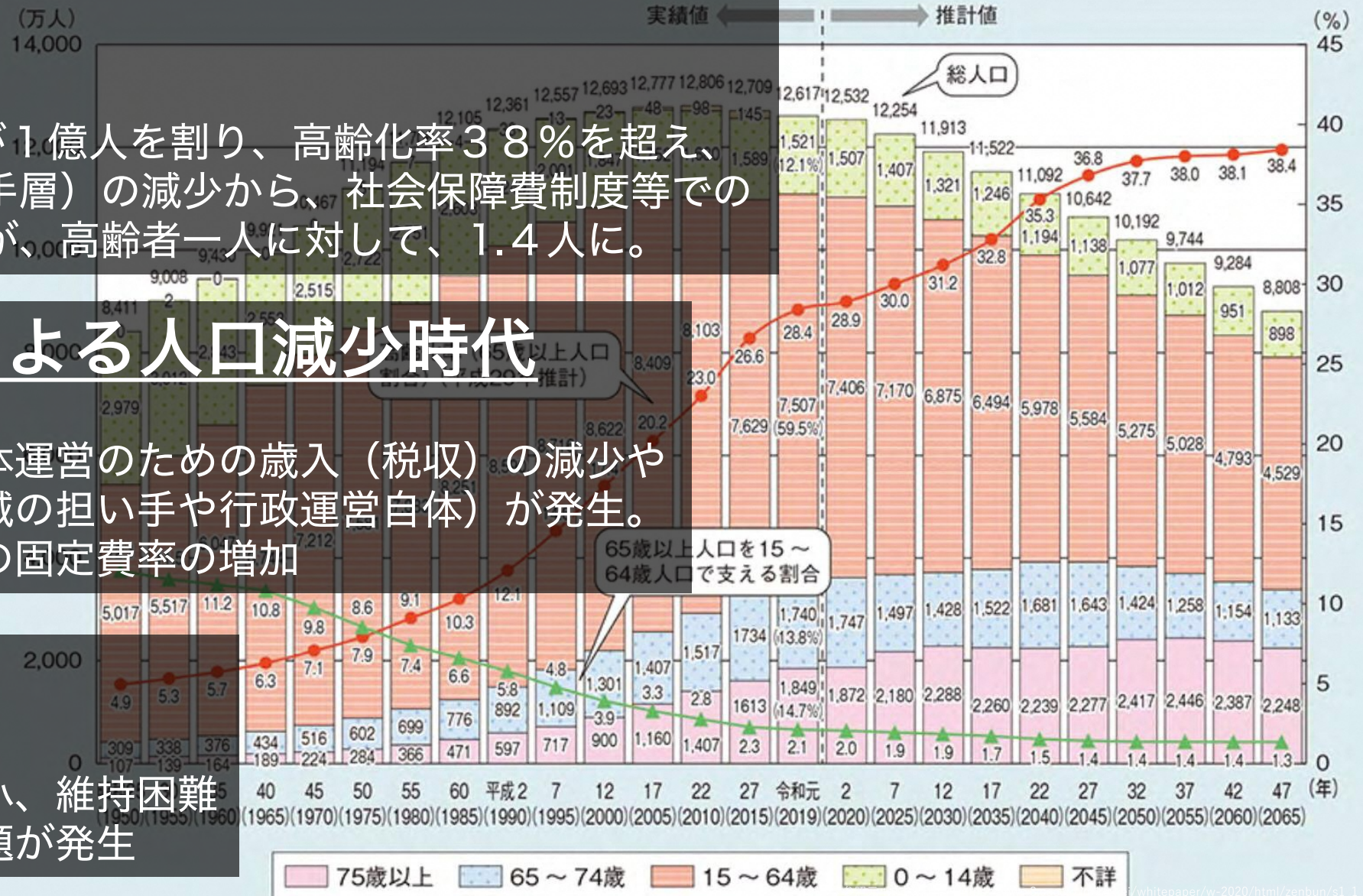
- ・ 2060年には人口が1億人を割り、高齢化率38%を超え、生産労働人口（働き手層）の減少から、社会保障費制度等での高齢者を支える割合が、高齢者一人に対して、1.4人に。

少子高齢化による人口減少時代

- ・ これにより、自治体運営のための歳入（税収）の減少やマンパワー不足（地域の担い手や行政運営自体）が発生。加えて、インフラ等の固定費率の増加

将来的課題

- ・ 行政サービスの縮小、維持困難
- ・ インフラ維持の課題が発生



人口に関する今後の見通し

	2025年	2040年
認知症	6 7 5 万人	8 0 2 万人
介護職員必要数	2 4 3 万人	2 8 0 万人
単身高齢世帯	7 5 1 万世帯	8 9 6 万世帯 (高齢世帯の 4 割)

行政サービスを維持継続するために圧倒的に不足する

カネ と ヒト

解決手法として、デジタル化・DXによる
効率化・費用削減が必要

課題：日本全体の取組

取組

デジタル庁設置

デジタル田園都市国家構想及び交付金等によるデジタル活用やDXの取組促進

マイナンバー制度

2023年5月：マイナ機能がスマホに搭載

⇒スマホ所有≒マイナンバーカード所有

2024年秋頃：マイナカードに保険証統合

⇒実質的なマイナンバーカード取得の義務化

【デジタル化の流れ】

2026年3月：3G回線の停波

⇒スマホ難民が爆発的に増えると予測。

デジタル化・DXに資するサービス導入だけでも
将来的課題の解決には繋がらない

真に必要な取組

使えるようになる！

その為の一步目が「デジタルディバイド層」の解決

余談

デジタル化の全国的な動き

- 「サービス導入したけど使ってもらえない」問題
≡ 「持続性のない」「使われないサービス」の消費的行動

	種別	活性化範囲	業態
ハコモノ行政	ハード	地域内	土木・建築系
デジタル行政	ソフト	地域外	IT関連企業

- 地域内経済循環が起きにくい
- 利用が進まない
- マンパワー不足（業務量増）

3重苦

潜在的な
「自滅的社会問題」

Q おさらい。
ちょっと想像してみてください？

IP告知電話



02

日高村では何したの？

私たち日高村は

日本で、はじめて

スマートフォン普及率 100%を目指す

自治体宣言をしました

Q そういえばなんで
スマホなんでしたっけ？

日高村での取組

デジタルディバイト層の解消の定義

「インターネットに接続可能な媒体をもち、常時オンライン化が可能な状態」を初期段階として定義

インターネット
接続媒体の具体

スマートフォン、タブレット端末、PC

媒体の選択

DX促進 取組分野例	現状と特性	媒体								
		スマートフォン			タブレット			PC		
		視認性	携帯性	経済性	視認性	携帯性	経済性	視認性	携帯性	経済性
・ 情報	・ 自治体広報においては、1ヶ月以上のタイムラグが発生する。 ・ コロナ関連など情報の鮮度が重要なテーマが増加	△	◎	○	○	△	△	○	×	×
・ 防災	・ 災害は、「いつ、どこで、誰に」起きるか分からないものであることから、少なくとも自分自身の活動範囲の情報や、「いつでも」情報が取得できる状態にあることが重要									
・ 健康	・ 健康活動においては、「歩く」行動が第1歩であるため、オンライン化媒体は携帯性の高いものである必要がある。									
・ その他 (マイナンバー普及)	・ マイナンバーの今後の流れから、スマホとの機能連携、保険証との統合などが予定されており、今後、スマホ＝マイナ＝保険証など利便性向上される									

スマートフォンの普及が、一番効果的かつ導入容易性が高い

住民のエンパワメント

公助、共助、自助のバランスで地域が維持されてきました。

人口減少時代、地域の担い手やサービスが縮小していく未来に

3つのバランスの再構築が必要です。

地域を維持する為に、地域に対して力を発揮できる

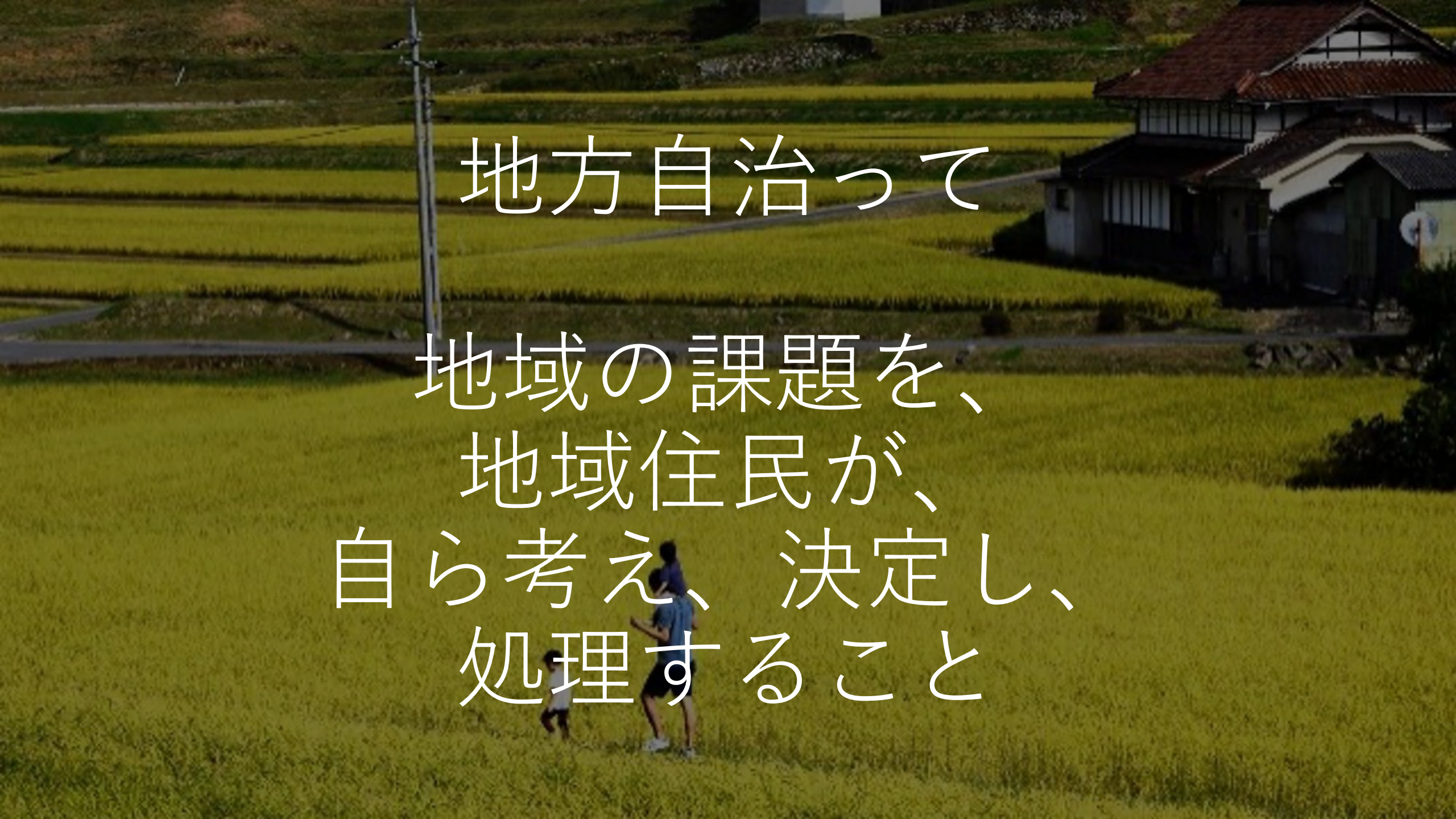
「気持ち」や「できること」、そして「環境」が重要です。

まずは、身近なところから「自分でもできる」という自信が大事です。

「住民のエンパワメント」は、地方自治の本旨に則り

地域を今後どう維持していくのかという問いの

本質的な部分だと思っています。

A photograph of a rural landscape. In the foreground, there is a vast field of golden rice. In the middle ground, a paved road runs horizontally. To the right, there is a traditional Japanese house with a tiled roof and white walls. In the background, there are more rice fields and a hillside. A utility pole is visible on the left side. The text is overlaid in the center of the image.

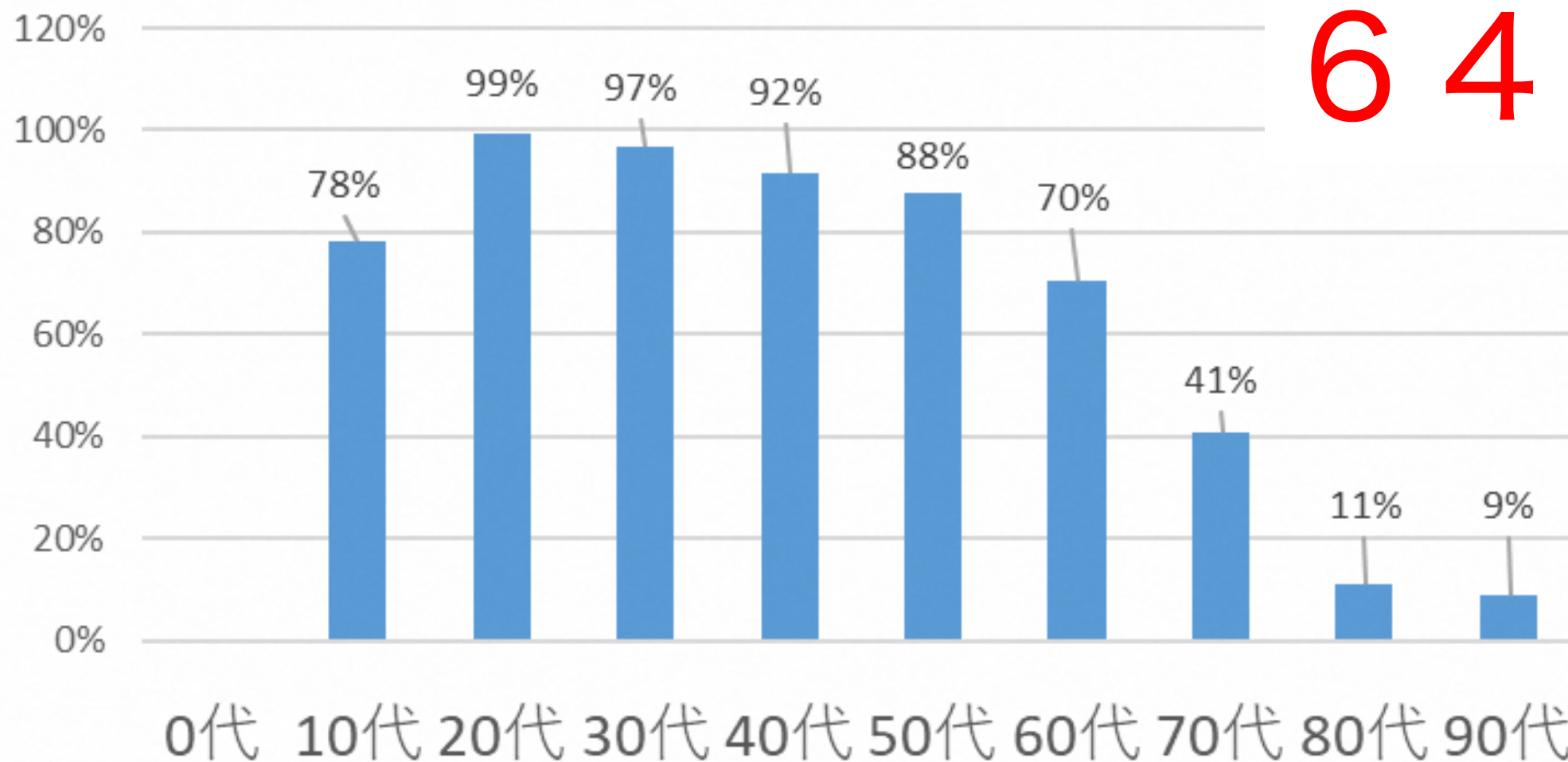
地方自治って

地域の課題を、
地域住民が、
自ら考え、決定し、
処理すること

普及率（令和2年5月調査時）

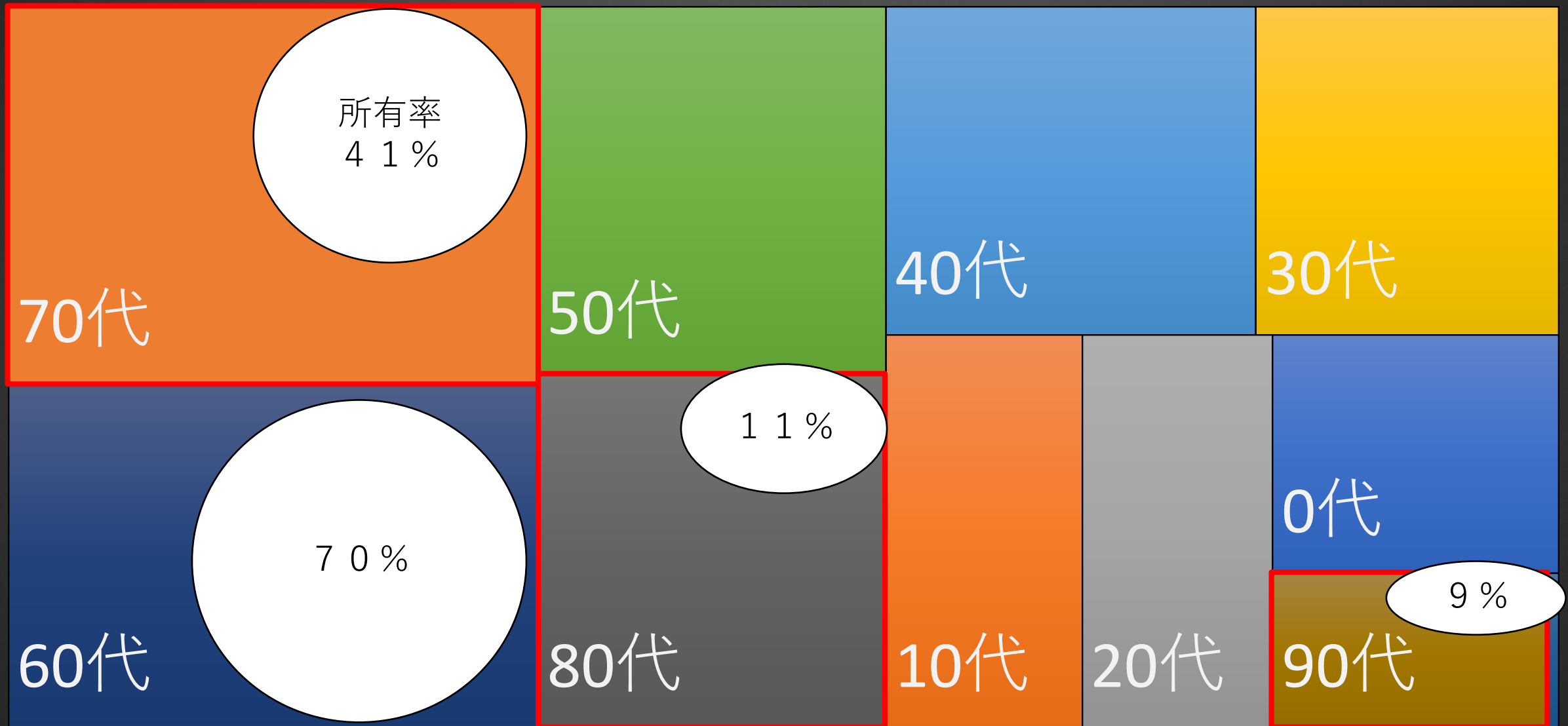
年代別所有率

所有率平均



64.5%

人口分布率に重ねると



デジタルディバイド層

高齢者層 かつ 低所得者層

行政サービスヘビーユーザー



解消されないとDXできない

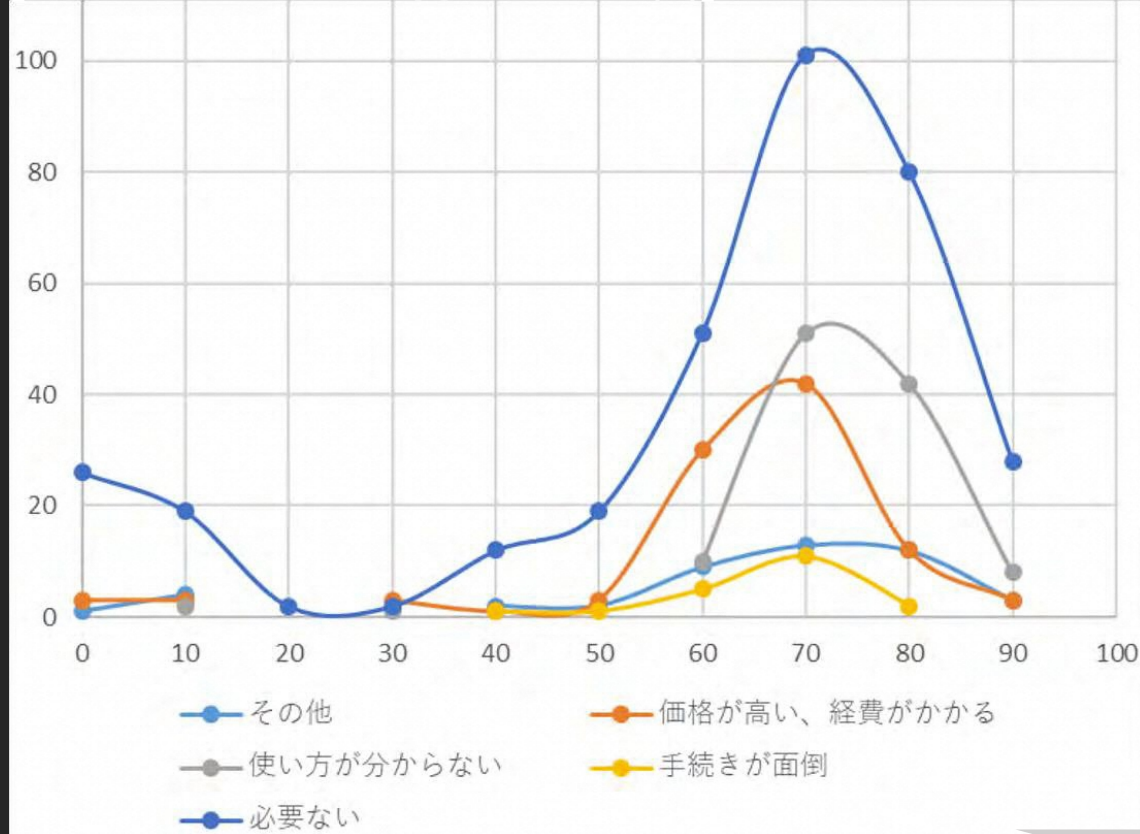
行政サービスのDXを進めても利用されない

情報やサービスへのアクセスに関して不平等が生じる

デジタルディバイド層のニーズ

DD層解消の再定義：「スマホを持ち、常時オンライン化状態」

【わたしがスマホを持たない理由】



第1位：必要ない

- ・デジタルディバイドの前に、元々、情報弱者
- ・現状維持バイアスが強い

第2位：使い方がわからない

- ・低い自己肯定感
- ・認知的不協和

第3位：価格が高い

- ・認知の歪み
- ・端末購入費と月額使用料の2種類

個別のニーズではなく、
個人によって複合的でそれぞれの濃度が異なる

スマホ購入支援やスマホ教室だけでなく、
複数の支援事業が同時に必要

全体イメージ

ソサエティ5.0
スタート準備

シームレスな
データ駆動社会

スタートアップや実証事業の
展開支援

基盤やデータを活用した事業改善・改
革

スマホアクティブ率

100%

・・・コミュニケーション方法のデジタル活用

スマホ普及率 100%・・・デジタル化（スマホ等普及）

03

村まるごとデジタル化事業

村まるごとデジタル化事業

日高村が
宣言したこと

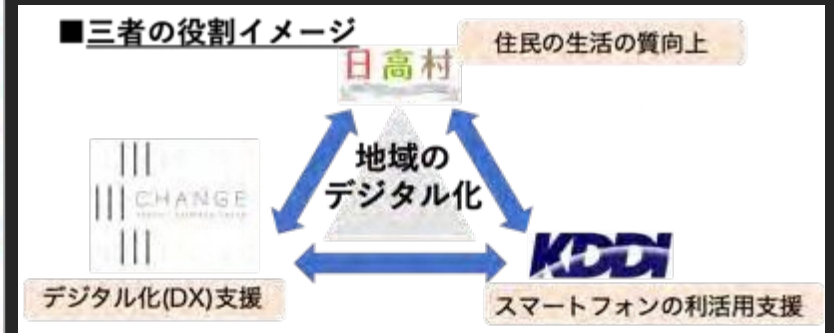
日本全国に向けて
「日本で初めてスマートフォン普及率100%を目指す村」を宣言

2021年5月24日

日高村、KDDI株式会社、株式会社チェンジの三者にて、スマホ普及率100%を目指し、協定を締結



県内のニュース番組でも取組みが紹介



2021年6月1日～

スマホ普及100%を目指し、日高村保健センター、村の駅ひだか、サンシャイン日高にて、auショップの協力による出張販売を開始。

新規契約/130件（10月現在時点）



住民向けチラシ

キャンペーン用スマホ（例）

村まるごとデジタル化事業の概要

アプリケーションを活用した生活の質向上

健康事業

ポケットヘルスケア
(KDDI)



- 日高村住民の健康活動の促進を支援
- 利用者には健康活動に応じたインセンティブを発行し、利用促進に向けた動機づけを促す

防災事業

高知防災
(高知県)



- 災害に対する個人の情報武装の一貫としての利用を想定
- 防災に対する意識を高めることに加え、地域としての安全意識の向上を目指す

情報事業

LINE
(Z HD)



- 住民同士または住民と自治体のコミュニケーションツールとしての利用を想定
- 行政既存事業である広報やアンケート調査なども想定

普及事業

chiica
(トラストバンク)



- 普及事業ならびに健康事業などで獲得できる地域通貨の利用基盤
- 地域通貨利用による、地域経済への波及効果を期待

村まるとデジタル化事業の概要

ポイントキャンペーン

スマホ普及

スマホ購入ポイントキャンペーン

まだスマホを持っていない方へ
今ならchiicaポイントプレゼント!!

3Gから切り替え 5,000 ポイント
4Gガラケーから切り替え (端末価格5,000円未満) 5,000 ポイント
4Gガラケーから切り替え (端末価格5,000円以上) 12,580 ポイント

おすすりめ2機種

BASIO4
電話・メールの運用ボタン、かんたん文字入力、長時間の電源で安心しん。

arrows We
みんなが使いやすいスマホのために、画べるHD液晶とシンプルモード。

無料

- ※ガラケーからスマホへの切替え
- ※アプリ設定サービス
- ※スマホの貸出
- ※料金見直しや相談
- ※スマホ教室

スマホへ切り替えのご相談は以下の店舗にお問い合わせください。
商品の在庫やご来店のご予約などは一度お電話をお願いします。
※営業は「日高村でスマホに悩みたい」

日高村
スマホよろず相談所
日高村沖名23 保健センター内
Tel 070-2300-5030
【平日、日曜日】10:30 - 17:00
※休日はご相談可

auショップ
サニーアクシスの
いの町205 サニーアクシスの内 1F
Tel 088-893-1500
【営業】9:30 - 21:00
【受付】9:30 - 19:00

auショップ高岡
主市高岡町下町2-8
Tel 088-828-5030
【営業】10:00 - 19:00

スマホ購入の障壁を下げるために、実質 0 円でスマホ購入できるキャンペーンを実施

アクティブ率

健康ポイントキャンペーン

歩いて!ポイントを貯めて!
お買い物をしよう
キャンペーン

例えば、歩いて健康ポイントを貯めれば
1ポイント=1円としてchiicaが使えます!

たくさん歩けば
1ヶ月で約 **1200** ポイント貯まる!

新しいちゃん
お菓子買ってー!

おばあちゃん
たこ焼き食べよー!

日々の健康活動の記録、歩数に応じてポイントが付与されるキャンペーンを実施

スマホ普及

紹介カードキャンペーン

ご紹介カード
今日からあなたも!

スマホを使って生活をより楽しく、より便利に♪

相談無料

来店される方のお名前

該当項目にチェック!

- ☐ スマホについてのお困りごとの相談
- ☐ 村指定のアプリのインストール、設定
- ☐ スマホの新規購入、機種変更
- ☐ 料金プランの変更、相談、その他

恒品プレゼント!

スマ友サポーターとは?

スマホを持つこと、使うことに「ちょっと困った」を抱えていらっしゃる方に、優しく教えていただける方です。日常生活の中で、ご無理なくできるちょっとした活動で、スマホに困った人たちを支援していくサポーターです。

ご紹介者の Chiica の会員コード

ご紹介者のお名前

※ご紹介者は日高村のスマ友サポーターにご登録いたします。

日高村指定販売所へ

スマホよろず相談所 (保険センター)
高知県高岡郡日高村沖名23番地
☎ 受付*9/6/10:30 - 17:00 ☎ 070-2300-5030

auショップ サニーアクシスの店
高知県高岡郡いの町205
☎ 受付*毎日/9:30 - 19:00 ☎ 088-893-1500

口コミの訴求力を活用して、紹介者に対してポイント付与をするキャンペーンを実施

村まるとデジタル化事業の概要

出張販売所/よろず相談所（スマホ教室）



村まるごとデジタル化事業の概要

住民向け説明会/個別説明会



全体説明会



本郷地区



沖名地区



加茂地区

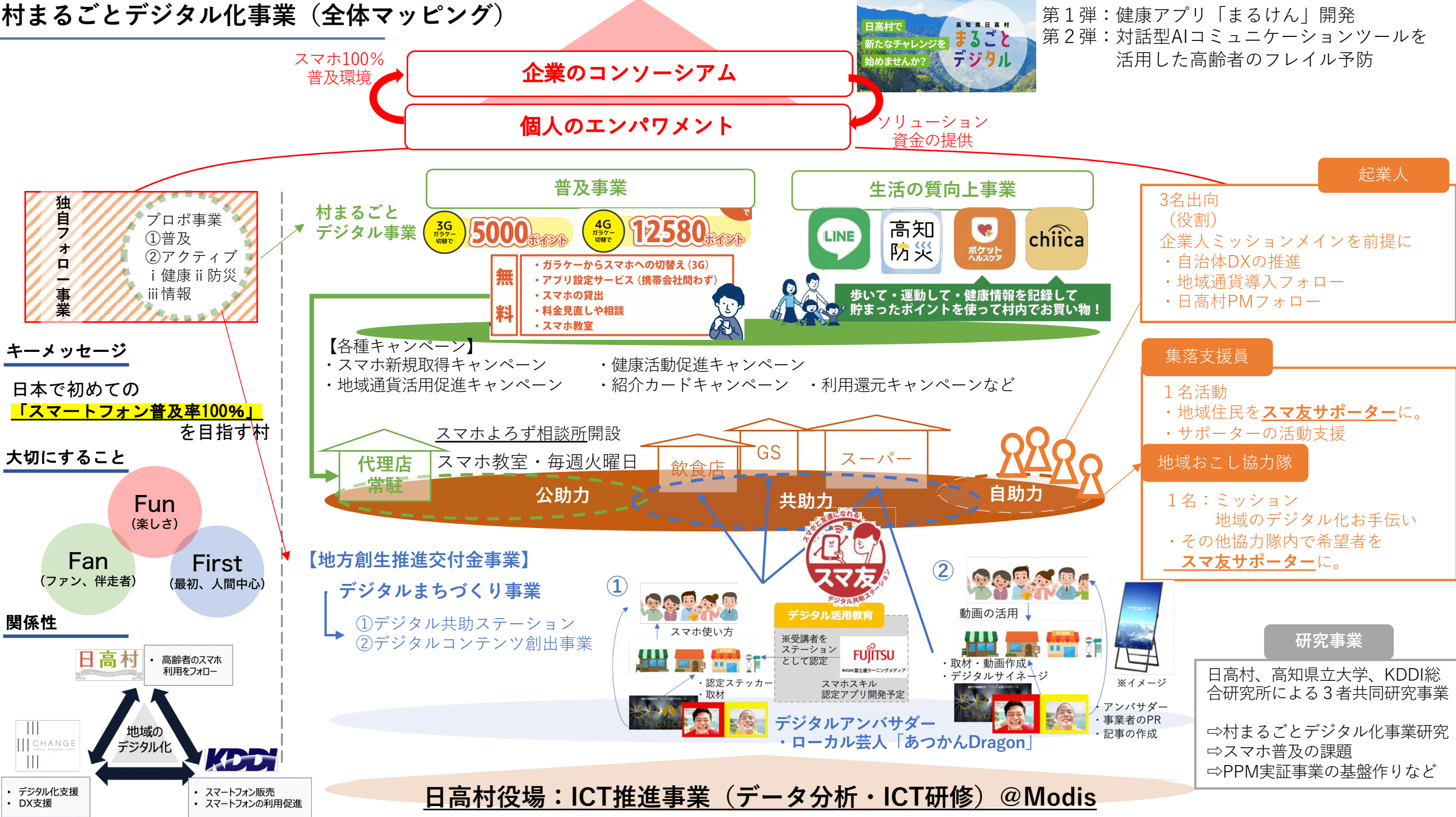


能津地区



下分地区

村まるごとデジタル化事業（全体マッピング）



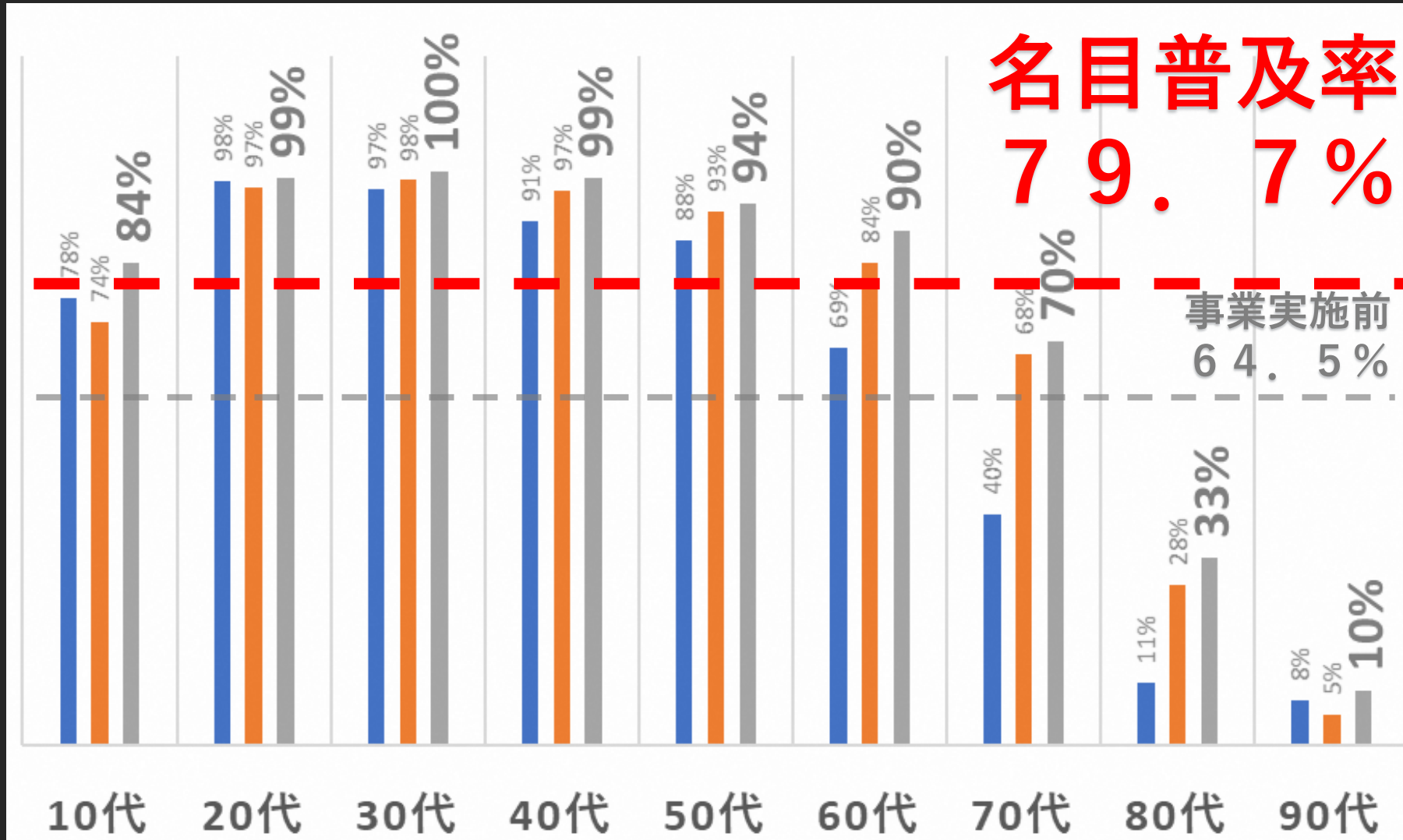
04

事業成果

日高村 「村まるごとデジタル化事業」 の成果

調査時点：R2.5 R3.11 R4.6

60代 69.4%→84.2%→89.5%
70代 40.4%→68.1%→69.9%
80代 10.9%→28.1%→33.1%



実質
普及率

86.0%
(R4.6時点)

名目…全住民が分母対象に算定
実質…分母から子どもなど除外

日高村「村まるごとデジタル化事業」の成果

令和5年10月アンケート調査結果

名目普及率：85.5%

実質普及率：92.7%

村まるごとデジタル化事業の結果

スマホ普及率 64.5% ⇒ 85.5%

▼
【大切なこと】
デジタルディバイド層の解消は
解決可能な社会課題

「認識の更新」

05

一般社団法人
まるごとデジタルの設立

まるごとデジタルの概要



- 社 名 一般社団法人まるごとデジタル
- 設 立 2023年8月7日
- 代 表 理 事 高知県日高村村長 松岡一宏
- 社 員 高知県日高村、KDDI株式会社、株式会社チェンジ
- 活 動 内 容 国内のデジタルデバイド（情報格差）解消とデジタル化を通じた地域住民の生活の質向上

設立背景について

高知県日高村で取り組んできた、**住民のスマホ普及率100%**を目指す「村まるごとデジタル化事業」では、事業開始から約1年でスマホ普及率を大きく向上させることができました。

スマホ普及率

事業開始前
65%

(2020年5月時点)

86%

(2023年10月時点)

分母から9歳以下の子ども等のスマホ利用が実質的に困難な方を除いた「実質普及率」としては、約93%。

表彰実績



令和3年度
企業版ふるさと納税に
係る内閣府特命担当
大臣表彰を受賞



令和4年度電波の日・
情報通信月間記念式
典において四国情報通
信協力会会長賞受賞



令和4年度
夏のDigi田甲子園
実装部門ベスト4受賞

本事業を通じて培ったデジタルデバイド解消のためのナレッジを社会に還元し、**地域横断で課題解決を行うための仕組み**として、「一般社団法人まるごとデジタル」を立ち上げました。

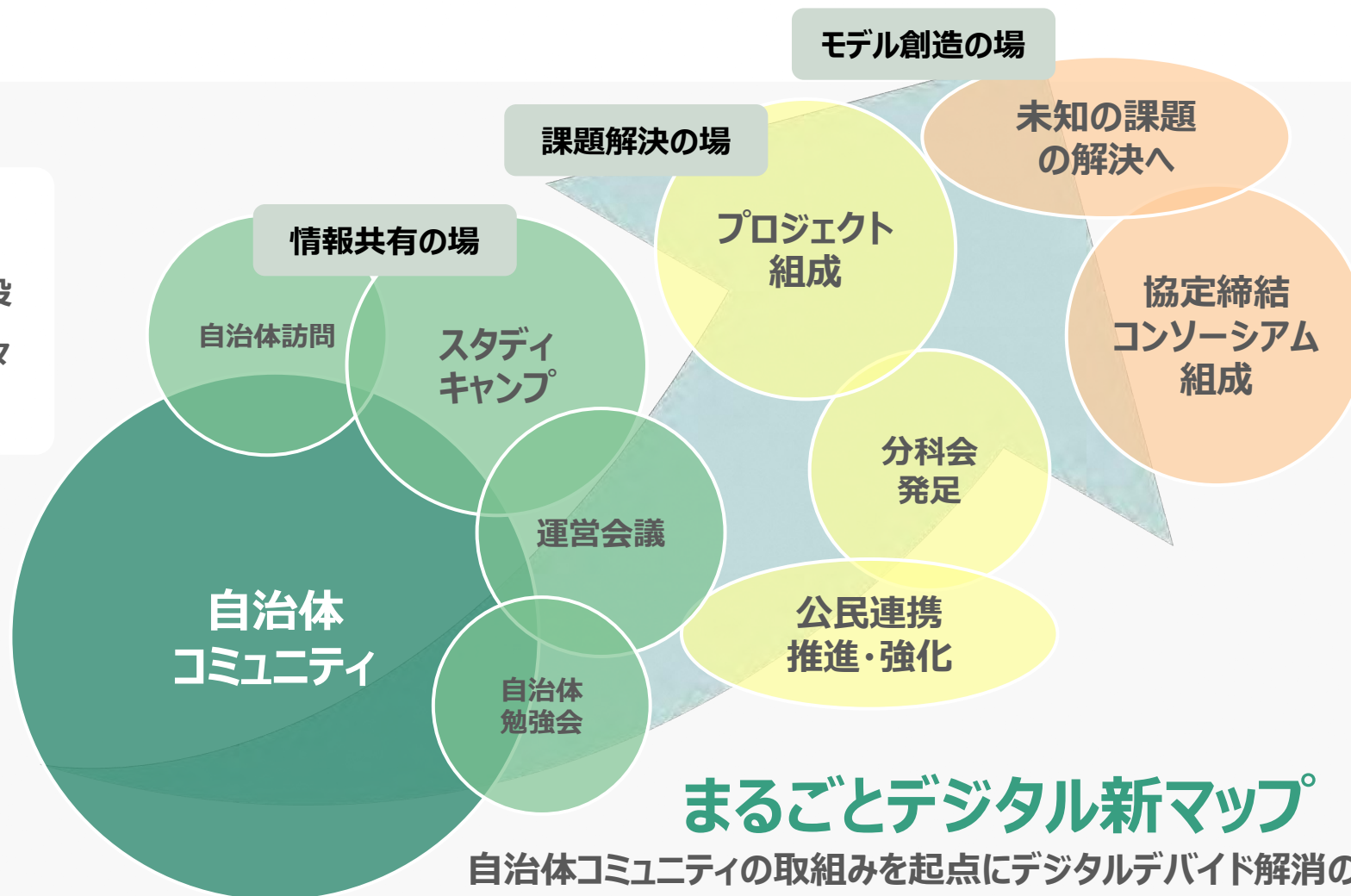
まるごとデジタルが目指す姿

- 自治体DXを推進する自治体会員同士のフラットなコミュニケーションを基軸として、地域の課題を解決できる技術やアイデアを持った企業とプロジェクトを組成し、成功モデルを全国展開していく官民連携プラットフォームを目指します。

概念図

Point!

- ✓ 賛助会員の皆様が主役
- ✓ 新マップの歩き方は様々
- ✓ 行先のすべてがゴール



まるごとデジタルの賛助会員（自治体）

- 以下の19自治体が賛助会員として参画しています。（2025年1月時点）



和歌山県 白浜町



兵庫県 たつの市



長野県 塩尻市



島根県 吉賀町



鹿児島県 志布志市



鹿児島県 いちき串木野市



長野県 飯綱町



高知県 日高村



鹿児島県 大崎町



長野県



長野県 中川村



兵庫県 豊岡市



東京都 狛江市



兵庫県 佐用町



山形県 南陽市



沖縄県 竹富町



鹿児島県 薩摩川内市



徳島県 石井町



徳島県那賀町

まるごとデジタルの取り組み

- 自治体会員同士のコミュニケーションを促進するため、オンラインでの運営会議やリアルでの勉強会の実施に加えて、実際に現地に訪問してデジタルデバйд解消・デジタル利活用の課題感のヒアリングを行っています。

運営会議（毎週木曜11-12時）



自治体訪問（3回/年）



スタディキャンプ（1回/年）



自治体勉強会（不定期開催）



06

終わりに

取組を通じて

デジタルディバイド層の解消



「変わらない」と思っている原因は？



スマホの場合：自己肯定感

「わたしなんて…」 「どうせ無理」



「愛」

全ての真理は3つの段階を経る。
第一に、それはあざ笑われる。
第二に、暴力的に反対される。
最後に、自明のこととして受け入れられる。

